



「こどもホットライン」に相談してみませんか 2

がっこう せいと こえ こ ぎかい ちゅうがっこう せいとかい れんらく きょうぎかい か きけんしゅうかい
学校づくりに生徒の声を!『子ども議会(中学校生徒会連絡協議会夏季研修会)』
かいさい
を開催しました 3

ひろ ちいききょういく わ
広げよう地域教育の輪 4

くまもとしこうこうとうしんがくし えんきんしきゅう しんせいぼしゅう はじ
熊本市高校等進学支援金支給の申請募集が始まります 5

くまもとほくぶつかんしゅうききかくてん きよまさ う つ めいじょう かとうただひろ くまもとじょう
熊本博物館秋季企画展 清正から受け継いだ名城—加藤忠広と熊本城— 6

「こどもホットライン」に相談してみませんか

この記事は主に
児童生徒向け

こどもの権利って？

こどもが、人間らしく、幸せに生きられ、健康に成長するために必要なことは、世界のどこに生まれてもおなじです。それを「子どもの権利」と呼びます（日本ユニセフ協会ホームページから抜粋）。

みなさんは一人ひとりがとても大切な存在です。みなさんが自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていくことがとても大切です。

こどもホットラインって？

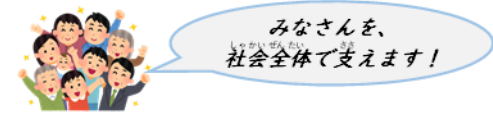
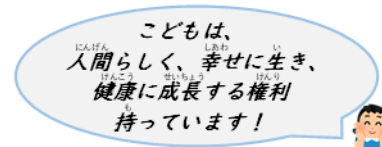
こうした社会を目指して、今年4月に、国では「こども基本法」「こども家庭庁」が、熊本市では「こども局」ができ、新しい相談窓口として「こどもホットライン」が誕生しました。

「こどもホットライン」は、こども本人や保護者、まわりの人などから、「こどもの権利」に関する相談を受けるところです。

こんな時、ぜひご相談ください！

あなたがつらいな・嫌だなと思った時、困ったことや心配なことがある時、心がすっきりしない時、だれにも言えない・だれに相談すればよいか分からない時、まずは私たちにそのことを聞かせてください。

私たちは、あなたの話を聞き、あなたの気持ちを大切にしながら、あなたが一番よいと思える解決策をあなたと一緒に考えます。秘密は守ります。あなたやそのまわりの人の心や体、命に危険があるとき以外は、あなたの同意なく学校や保護者などに相談の内容を伝えることはありません。ご相談、お待ちしております。



子どもの権利条約
～こどもにとって大切な4つの権利～
「生きる権利」 「育つ権利」
「守られる権利」 「参加する権利」

**あなたの気持ちを受け止め、
どうしたらよいかを一緒に考えます**

学校や友達のこと
悩んでいる

まわりの人から
嫌なことをされている

家族のこと
悩んでいる

自分自身のこと
悩んでいる

こども本人や保護者、まわりの人などから、
「こどもの権利」に関する相談をお受けします
秘密は守ります。あなたやそのまわりの人の心や体、命に危険があるとき以外は、
あなたの同意なく、学校や保護者などに伝えることはありません。

【相談方法・時間】

- 電話相談 :070-3367-9330
※午前10時から午後6時まで(土・日・祝日、年末年始をのぞく)
- メール相談: kodomohotline@city.kumamoto.lg.jp
※24時間受付(夜間・休日等は、休み明けの平日の対応となります)



くまもとしこどもホットライン
(くまもとしホームページ)

学校づくりに生徒の声を!

『子ども議会(中学校生徒会連絡協議会夏季研修会)』を開催しました

この記事は主に
中学生向け

令和5年8月2日(水)熊本市議会の本会議場で「子ども議会(中学校生徒会連絡協議会夏季研修会)」を開催しました。熊本市内の市立、私立、国立の各中学校より代表生徒51名が参加しました。

今年度は、今年4月施行の「こども基本法」と「熊本市教育振興基本計画」の基本理念に基づき、「全校生徒が本気で取り組む学校づくりについて話し合おう!~私たちの『声』が生きる学校を目指して~」をテーマとしました。

開会式では、熊本市議会の田中敦朗議長からの「歓迎の言葉」と遠藤洋路教育長から「教育長からのメッセージ」をいただきました。次の研修Ⅰでは、4つの分科会に分かれて「こども基本法」について学び、法律がつけられた理由や「子ども議会(中学校生徒会連絡協議会夏季研修会)」の目的とのつながりについて考えました。



続く研修Ⅱでは、生徒へのアンケートにより設定した「A:校則について考える取組」「B:地域と連携した取組」「C:生徒会活動」「D:学校行事」の4つの分科会の議題について、今年度のテーマに基づいた話し合いをしました。その議論の結果は本会議場での研修Ⅲの中で発表しました。参加者全員が本会議場の壇上で発表しました。



- 校則は暮らしをより良くするものということを伝えたい。
- 避難訓練を地域の方と協力して実施してはどうだろうか。
- タブレットを活用して、意見箱のデジタル化を進めてみたい。
- 学校行事を通して、一人一人が輝ける学校づくりをしてみたい。

最後に大西一史熊本市長からの講評の中で、堂々とした発表をほめていただくとともに、多様な意見を尊重し、正しい方向へ導いていくことや自分の意見を伝えていくことの大切さについて教えていただきました。



【参加した生徒の感想より】

同じ意見をもつ仲間や、反対意見をもつ仲間と会えたことが宝物だと思った。

学校をよりよくするために、今日話した内容を自分から、より多くの人に発信できたら良いなと思います。



特色ある地域教育の取組をリレー方式で発信し、子どもたちの多様な学びを支援します。

今回は、田底小学校の「学校と地域の連携・協働のための意見交換会」の取組について紹介します。

学校と地域の連携・協働のための意見交換会について

田底小学校では、学校評議員会の枠組みを活用し、下記の目的に資するため、昨年からは地域の方を招いて意見交換の場が設けられています。

- ① 学校教育目標にある「よりよい未来を拓く田底っ子の育成」の実現のために、学校の教育課程を地域に開き、学校、家庭、地域が連携・協働しながら教育を推進する。
- ② 教育課程の実施に必要な教育資源（ヒト、モノ、コト、カネ）を活用する体制を確保し、田底小学校教育活動の質の向上を図る。



ワークショップ
「田底のいいところを見つけよう」で
対話する参加者

参加者は、田底小学校の教職員をはじめ、学校評議員を含む地域関係者（自治会、防犯・交通安全協会、植木温泉組合、PTAなど）、行政（まちづくりセンター、教育委員会）、大学教員などで構成され趣向を凝らした協議が行われています。

「田底の良いところを見つけよう」から地域との連携・協働へ

ワークショップでは「田底の良いところを見つけよう」と題し、グループごとに地域の特色や教育資源を再確認しました。（たとえば、田底の豊かな自然、人の気持ちを大事にする子ども、良好な地域と学校のつながり、各種温泉・行事イベントの実施や、校区を横断するサイクリングロードなど。）

意見交換「学校と地域の連携・協働できるアイデアを集めよう」では、教職員から地域の協力が必要な学習について提案があり、低学年の「地域探検はどこに行くといいか」の話には、参加者から「駄菓子屋に来てほしい」、「めだかがいる水路を案内するよ」などの話があがっていました。他にも社会科に関連して「消防団が防災の話をするよ」といった意見や、外来種の水草繁殖に伴う駆除の経緯などによる環境学習へのつながりや、戦時中からつながる沖縄との交流話など、教職員が初めて聞く話も多くあり、活発な意見交換がされていました。10月には、植木温泉で行われるお祭りでも、6年生が飲食店と協働して新メニューを考えて販売する予定です。また、小学生がICTを活用し、地域の方々と関わる中で出てきたアイデアを実現する学習も進めていきます。

このような活動を通して、「よりよい未来を拓く田底っ子の育成」という学校教育目標の具現化が図られていくものと感じました。

学校と地域が「どんな子どもに育てたいか」「何を実現したいか」などのビジョンや目標を共有し、パートナーとして連携・協働しながら学びを展開していく「地域とともにある学校づくり」のヒントをいただきました。



「田底のいいところ」を全体で共有

熊本県 熊本市 高等学校等進学支援金支給の申請募集が始まります

熊本県では、経済的理由で高等学校等への就学が困難な方の経済的負担を軽減するため、入学の準備のために使える進学支援金を支給しています。

申請資格

申請資格は、以下のすべてにあてはまる人です。

- (1) 高等学校等(※1)への進学を希望し、令和6年度に高校等へ入学する方
- (2) 申請日時点で熊本市内に在住している方
- (3) 生活保護を受給している方、または、市町村民税の所得割が非課税の世帯の方
- (4) これまで熊本県高等学校等進学支援金の給付を受けていない方
- (5) 熊本県暴力団排除条例に定める暴力団員及び暴力団密接関係者ではない方

※1 高等学校等とは、国公立の高等学校のほかに、高等専門学校・専修学校の高等課程や
准看護師養成所、調理師養成施設、製菓衛生師養成施設の教育施設の指定を受けたものなども含みます。

支給額

支給額は40,000円で、返還は不要です。

提出期限

申請の提出期間は、11月1日(水)から11月30日(木)までとなっています。

詳しくは、募集案内をご確認ください。募集案内は熊本県立中学校・熊本県内の私立中学校・各区役所保護課・教育委員会指導課で配布しています。

お問い合わせ先 教育委員会指導課 Tel 328-2716

くもと はくぶつかん しゅうき きかてん いいだまる ごかいやぐら きせき いっぱん いしがき ふつきゅう きねん
熊本博物館秋季企画展（飯田丸五階櫓「奇跡の一本石垣」復旧記念）

きよまさ う つ めいじょう かとう ただひろ くもと じょう
—清正から受け継いだ名城—加藤忠広と熊本城—

きじ おも
 この記事は主に
 すべ かた む
全ての方向け

ほんてん みぞう じしん ひかい う とくべつ しせき くもとじょうあと のこ いしがき こうちく
 本展は、未曾有の地震被害を受けたことにより、はっきりとわかってきた特別史跡熊本城跡に遺された石垣の構築
 りれき かち とく ぜんくてき ゆうめい かとう きよまさ あと くもとじょうしゅ ほそかわ け はざま ちゅうもく
 履歴やその価値、特に全国的に有名な加藤清正とその後の熊本城主細川家の狭間であまり注目されてこなかった
 かとう ただひろ じだい くもとじょう かた しりょう しょうてん
 加藤忠広とその時代の熊本城を語る資料に焦点をあてます。

くもとじょう ひごのくに まも かとう け じだい しじょう しゅつど かわら いちどう てんじ
 また、熊本城と肥後国を守った加藤家時代の支城から出土した瓦を一堂に展示します。



かいき れいわ ねん ねん
会期 令和5年(2023年)
 がつ にち ど がつ にち にち
 10月14日(土)～12月17日(日)
 ごぜん じ ごご じ にゅうじょう ごご じはん
 午前9時～午後5時(入場は午後4時半まで)
 げつようび きゅうかん
 月曜日休館

ばしょ くもと はくぶつかん とくべつ てんじ しつ
場所 熊本博物館 特別展示室1・2・3

りょうきん くもと はくぶつかん にゅうじょうりょう
料金 熊本博物館 入場料のみ
 おとな えん えん こうこう だいがくせい えん えん
 大人400円(320円)、高校・大学生300円(240円)、
 ちゅうがくせい いか えん えん
 中学生以下200円(160円)
 だんたいりょうきん みしゅうがくじ むりょう
 ※()は団体料金。未就学児は無料。
 くもとしない しょうちゅうがくせい なふだ など ていじ むりょう
 熊本市内の小中学生は名札等の提示で無料。

きかてん かんれん
【企画展関連イベント】

がくげいん しなん
くまはく学芸員指南!

くもとじょうこうりやくほう いしがき みかた ある かた
熊本城 攻略法 -石垣の見方・歩き方-

にちじ ねん ねん がつ にち ど
●日時 令和5年(2023年)10月28日(土)
 ごぜん じ しょうご ごぜん じはんしゅうごう うけつけ
 午前10時～正午(午前9時半集合・受付)

ばしょ くもと はくぶつかん しゅうごう いいだまる
●場所 熊本博物館エントランス(集合)から飯田丸
 ごかいやぐら いしがき み ばしょ かいさん
 五階櫓石垣が見える場所(解散)
 とくべつ しせき くもとじょうあと ない むりょう あんない
 ※特別史跡熊本城跡内の無料エリア案内

ないよう くもとじょう いしがき こうこがく てき みかた さい
●内容 熊本城の石垣について、考古学的な見方や最
 っしん ちようさ けんきゅう せいしか かいせつ ていど
 新の調査・研究成果を解説します(2km程度
 ある まわ
 を歩いて回ります)。

ていいん にん どうじつ せんちやくじゆん
●定員 50人(当日先着順)

ひよう くもと はくぶつかん にゅうじょうりょう
●費用 熊本博物館 入場料のみ

もうしこみ ふよう
●申込 不要